

議事日程第十二号

令和七年十二月八日（月曜日）

午前十時開議

第一、知事の説明

第二、予算特別委員会への議案付託の件

（「地方の実情を踏まえた国会議員の定数削減に関する決議案」を本日の議題とすることを求める動議）

本日の会議に付した事件

日程第一から日程第二まで議事日程に同じ

追加、地方の実情を踏まえた国会議員の定数削減に関する決議案

動議提出書、決議案提出書は巻末に記載

午前十時開議

本日の出席議員 四十一名

一	佐藤光子	二	福田博之
三	山形健二	四	川邊隼之介
五	高橋健	六	武内伸文
七	小棚木政之	八	高橋豪
九	瓜生望	十	松田豊臣
十一	加賀屋千鶴子	十二	櫻田憂子
十三	佐藤正一郎	十四	島田薫
十五	宇佐見康人	十六	住谷達
十七	児玉政明	十八	小山緑郎
十九	小野一彦	二十	加藤麻里
二十一	薄井司	二十二	三浦茂人

二十三番	鈴木真実	二十四番	佐々木雄太
二十五番	杉本俊比古	二十六番	佐藤信喜
二十七番	今川雄策	二十八番	高橋武浩
二十九番	小原正晃	三十番	渡部英治
三十一番	北林丈正	三十二番	竹下博英
三十三番	原幸子	三十四番	工藤嘉範
三十五番	加藤鉦一	三十六番	石田寛
三十七番	三浦英一	三十八番	柴田正敏
三十九番	川口一	四十番	鶴田有司
四十一番	鈴木洋一		

地方自治法第二百一十一条による出席者

知事	鈴木健太
副知事	神部秀行
副知事	谷剛史
総務部長	伊藤政仁
総務部危機管理監(兼)広報監	萩原尚人
企画振興部長	笠井潤
あきた未来創造部長	橋本秀樹
観光文化スポーツ部長	岡部研一
健康福祉部長	石井正人
生活環境部長	信田真弓

農林水産部長 藤村 幸司朗  
産業労働部長 佐藤 功一  
建設部長 小野 潔  
会計管理者(兼) 小熊 新也  
出納局長 樋口 和彦  
財政課長 安田 浩幸  
教育委員会教育長 小林 稔  
警察本部長

●議長(工藤嘉範議員) これより本日の会議を開きます。

諸般の報告は、お手元の議長報告のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

議 長 報 告 (朗読省略)

一、十二月八日、知事から次の議案が提出された。また、記載のとおり関係委員会に付託した。

(1) 議案第二六九号 令和七年度秋田県一般会計補正

予算(第六号)

(付託委員会)

(2) 議案第二七〇号 職員の特種勤務手当に関する条例

例の一部を改正する条例案

総務企画委員会

総務企画委員会 一件

●議長(工藤嘉範議員) 日程第一、知事の説明を行います。知事の発言

を許します。

【知事(鈴木健太君)登壇】

●知事(鈴木健太君) おはようございます。追加提案いたしました補正予算案及びその他の議案について説明申し上げます。

このたびの補正予算案は、ツキノワグマによる被害防止対策のほか、国の経済対策を踏まえた物価高騰対策として早急に取り組む必要がある事業などについて計上しております。

ツキノワグマによる被害防止対策については、管理強化ゾーンにおける春季の捕獲を強化するため、効果的な狩猟方法に関する実証や狩猟者の技術向上を目的とした研修を実施するとともに、住宅地や農地等と林地の境界部分において、人とクマとの棲み分けに向けた緩衝帯の整備を進めてまいります。

また、農作業中の人身被害を防止するため、農家向けの研修会を開催するとともに、農作物の被害防止に向けて、果樹試験場に冬場も設置可能な強度の高い新型の電気柵を設置し、その効果を検証しながら県内への普及を促進してまいります。

物価高騰対策については、足元の物価高による影響を緩和するため、短期的な対応として、家計や事業者のエネルギーコスト等の負担軽減を図るとともに、中長期的な対応として、生産性の向上に資する設備投資等を促進し、本県経済の持続的な成長につなげてまいります。

まず、県民生活への対応については、低所得世帯に対し、灯油購入費の助成を行う市町村を支援するとともに、LPガスの利用料金の一部を助成し、光熱費に係る県民の負担軽減を図ってまいります。

次に、事業者への対応については、福祉施設や医療施設、学校等に対し、光熱費や食材料費等の負担増分を助成するほか、燃料や飼料等の価格高騰の影響を大きく受けている物流事業者や畜産経営体等に対し、経営維持に向けた支援を行ってまいります。

このほか、省エネルギー化や省力化に資する設備の導入等を支援するとともに、デジタル技術を活用した業務の効率化等に要する経費を助成し、賃金引上げの原資となる収益の確保に向けて、生産性の向上を後押ししてまいります。

また、県内の飲食・小売店等での消費拡大を図るとともに県民生活への支援につなげるため、プレミアム付き商品券を発行し、消費を喚起してまいります。

このほか、国の医療・介護等支援パッケージを踏まえ、介護従事者等の賃金引上げなどを支援してまいります。

一般会計補正額は、百八億二千五十万円であり、補正後の総額は、六千二百八十七億六千六百六十五万円となります。

次に、単行議案について申し上げます。

「職員の特務勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案」は、危険鳥獣の捕獲等に関する作業のうち、特に危険または困難なものに従事した職員に対し、特務勤務手当を支給しようとするものであります。

よろしく御審議の上、御可決賜りますようお願い申し上げます。

●議長（工藤嘉範議員） 次に、日程第二、予算特別委員会への議案付託の件を議題といたします。

お諮りします。議案第二百六十九号は、予算特別委員会に付託することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（工藤嘉範議員） 御異議ないものと認めます。議案第二百六十九号は、予算特別委員会に付託されました。

【「議長、動議」と呼ぶ者あり】

●議長（工藤嘉範議員） 三十五番加藤鉦一議員の発言を許可します。

【三十五番（加藤鉦一議員）】

●三十五番（加藤鉦一議員） 地方の実情を踏まえた国会議員の定数削減に関する決議案について動議を提出いたします。よって、動議について

日程に追加いただき、趣旨について発言の許可をお願いいたします。

●議長（工藤嘉範議員） ただいま全議員から地方の実情を踏まえた国会議員の定数削減に関する決議案を本日の議題とすることを求める動議が提出され、所定の賛成者がありますので動議は成立しました。

これより動議提出書を配付させます。

【職員動議提出書を配付す】

●議長（工藤嘉範議員） お諮りします。本動議を日程に追加し、議題とすることについて御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（工藤嘉範議員） 御異議ないものと認めます。よって、本動議を議題として追加いたします。

地方の実情を踏まえた国会議員の定数削減に関する決議案を議題といたします。

提出者の趣旨説明を求めます。

【三十五番（加藤鉦一議員）登壇】

●三十五番（加藤鉦一議員） ただいま議題となりました、地方の実情を踏まえた国会議員の定数削減に関する決議案について、提出者としての趣旨を説明いたします。

現在、国において国会議員の大幅な定数削減案が検討されております。これは、各都道府県の人口比のみを基準として機械的に議員定数を削減するものであり、広大な面積と人口減少という構造的な問題を抱える地方の実情を十分に踏まえたものとは言えず、本県においても影響は避けられません。

本県は、御承知のとおり全国で最も深刻な人口減少率を示し、急速な少子高齢化が進行している地域であり、県内各地では、医療、交通、産業振興、教育、防災など、生活基盤の維持に多くの課題を抱えております。

本県を含む地方の選挙区が削減され、地方の実情を国に届ける国会議

員の数が減ってしまえば、地方の声や少数意見を含めた多様な声が国政に届きにくくなり、住民の声が国政に反映されにくくなることは明らかであります。

このことは、地方の持続可能性の確保という国全体の課題に逆行するものであり、地方創生を掲げる国の方針とも整合性を欠くものと言わざるを得ません。

また、選挙区の面積が一層拡大することは、困難を抱える地域住民と議員との距離が広がることであり、議員活動の実効性の低下を招くことにつながり、民主主義の根幹を揺るがす結果となりかねません。

こうした地方の厳しい実情を踏まえ、本県議会は、地方の声が適切に国政に反映され得るよう、国において慎重かつ丁寧な検討が行われるとともに、国会議員の定数削減について、人口比による一律の見直しではなく、地方の地理的条件、人口動態、行政需要等を総合的に考慮した制度設計の実現を強く求めるため、本決議案を提出するものであります。

結びに、一般の国会議員の定数削減案は、人口減少率が全国で最大である本県にとって、将来にわたり多大な影響を及ぼすものであることから、本決議案は、本県、ひいては地方の未来を守るために、全国に先がけて、地方の意志を表明するものであります。

議員各位におかれましては、本決議案の趣旨を御理解いただき、御賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます。

●議長（工藤嘉範議員） 本決議案は、全議員提出に係るものでありますので、質疑、討論を省略し、直ちに採決することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（工藤嘉範議員） 御異議ないものと認め、そのように決定いたします。

起立により採決いたします。地方の実情を踏まえた国会議員の定数削減に関する決議案に賛成の方、御起立願います。

【賛成者起立】

●議長（工藤嘉範議員） 起立者全員であります。よって、地方の実情を踏まえた国会議員の定数削減に関する決議案は、可決されました。

以上で、本日の日程は、全部終了しました。

今日は、これをもって散会いたします。

午前十時十四分散会